

地絡継電器のチェック項目リスト

ODG-S31形

弊社の地絡継電器の不具合時、下表の項目をチェックしていただくことで、不具合要因を絞り込むことができます。

		項目	方向性
			ODG-S31-A形（屋外形） ODG-S31-B形（埋込形） ODG-S31-C形（露出形）
開閉器側	1	V <sub>a</sub> -V <sub>c</sub> 間の抵抗（トリップ回路の抵抗）（※1）	約25Ω
	2	V <sub>a</sub> , V <sub>b</sub> , V <sub>c</sub> 一括と開閉器アース間の絶縁抵抗（500Vメガー）（※1）	10MΩ以下 : 要取替え 10~100MΩ : 精密点検要 100MΩ以上 : 異常なし
	3	Z1-Z2間の抵抗（※1）	約13Ω又は約5Ω（気中開閉器）
	4	Y1-Z2間の抵抗（※1）	約80Ω
SOG制御器側	1	通常時 V <sub>a</sub> -V <sub>c</sub> 間に発生している電圧	DC約140V（※2）
	2	トリップ信号発生時 V <sub>a</sub> -V <sub>c</sub> 間に発生する電圧	DC約140V（※2）
	3	K <sub>t</sub> -L <sub>t</sub> に0.2A流した時のZ1-Z2間の発生信号	AC約20mV
	4	Z1-Z2間の抵抗（※1）	約100Ω
	5	T-E間に190V印加した時のY1-Z2間の発生信号	AC約380mV
	6	Y1-Z2間の抵抗（※1）	約100kΩ

外観（参考）



ODG-S31形  
（'15年製）

不具合時の処置方法については、別紙『不具合時のチェック項目リストについての解説と処置方法』をご参照ください。

（※1）抵抗測定と絶縁抵抗測定は、電線をSOG制御器の端子台から外した状態で実施してください。

（※2）V<sub>a</sub>-V<sub>c</sub>間には、当該製品の自己診断機能（引外し回路の断線監視用の微弱電流を通電）のため、常時電圧が発生しています。電圧測定に際して、正常時とトリップ信号発生時の区別が出来ないと思われるので、トリップ信号発生の確認は開閉器との連動動作を実施していただくことをお勧めします。

